

①学習課題（中学校2年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「生物が記録する科学——バイオロギングの可能性」(P42～P48)を読んで、説明の仕方について、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。(前週からの継続)

<取り組み方>

① 前週④でまとめた内容（2つの調査内容と結果）と、教科書P45、P47の図1～3を照らし合わせ、図が添えられていることの効果についての自分の考えをまとめてみよう。

- ・文章の理解に役立っていただろうか。
- ・文章の内容と図の内容は合っていたらうか。

② この説明文は「バイオロギングの可能性」という副題がついているが、筆者が「バイオロギング」のどんな点に可能性を感じているか、まとめてみよう。

- ・例)「バイオロギング」には、△△△△△という可能性がある。

③ この文章の説明の仕方について、工夫されていると思った点、参考にしたいと思った点などを箇条書きで書き出してみよう。そして、その内容について、家の人に分かりやすく伝えてみよう。

※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※③について、家の人に伝えることが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

【社会】

<内容>

織田信長や豊臣秀吉が登場した時代の文化は、どのような特色があるのだろう。
調べたり考えたりしたことを取組シートやノートにまとめてみよう。

<取り組み方>

- (1) 信長や秀吉が登場した時代の文化を、「文化を担った人」に注目し、教科書 P98～101 の本文や資料から探し、まとめてみましょう。
- (2) 室町時代の頃に生まれ、この頃に発展した「茶の湯」について、教科書 P99、100 で調べてみましょう。
- (3) 「外国とのかかわりから影響を受けた文化」について、教科書 P90、91、100、101 の本文や資料から探し、まとめてみましょう。

<学習のヒント>

- (1) 「豪商^{ごうしょう}や戦国大名が担った文化」「百姓、町人、武士に広まった文化」について、それぞれの文化に関することを整理してみましょう。
- (2) 茶の湯を茶道^{さどう}へと高めた千利休はどんな人物だったか、教科書で調べてみましょう。また、信長や秀吉ら戦国時代の武将が茶の湯を好んだ理由を考えてみましょう。
- (3) ヨーロッパとの交流が行われるようになったことや、日本の各地で争いが続いたことが、文化にどのような影響をもたらしたか、考えてみましょう。

【数学】

<内容>

連立方程式を解く方法を考えよう④

～ $A=B=C$ の形の連立方程式の解き方を考えてみよう～

<取り組み方>

- ① $2x + 3y = x + y = 2$ から、3通りの2元1次方程式をつくってみよう。
- ② $2x + 3y = x + y = 2$ から、今まで解いてきたような形の連立方程式を3つつくってみよう。
- ③ ②でつくった3つの連立方程式を解いて、解を比べてみよう。気が付いたことを「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ④ 教科書P50の例7を解いてみよう。

今回の課題で連立方程式の計算問題は終わりです。

教科書P51の計算力を高めよう2に取り組み、計算練習をしましょう。

<学習のヒント>

- ① $A=B=C$ の形の式は、 A と B と C が全て等しいことを表しているよ。このことから、3通り（ $A=B$ 、 $B=C$ 、 $A=C$ ）の2元1次方程式をつくることができるね。
- ② 教科書P50の例7の㉗～㉙を参考につくってみよう。①で考えた3通りの2元1次方程式を組み合わせると、3通りの連立方程式ができるね。
- ③ ②でつくった3つの連立方程式を、自分の解きやすい方法（加減法や代入法）で解いてみよう。
- ④ 教科書P50の例7の㉗～㉙の中で、どの組み合わせが解きやすいか考えて解いてみよう。

【理科】

＜内容＞

◆ヒトが呼吸をするしくみについて考えてみよう。

＜取り組み方＞

- ①教科書 P22 をみて、鼻や口から肺（肺胞）までの呼吸による酸素と二酸化炭素の流れを図や言葉でまとめてみましょう。
- ② 肺胞という小さい袋がたくさんあることの利点を考え、書いてみましょう。
- ③ 教科書 P23 をみて、呼吸運動（息を吸う、息をはく）について、横隔膜の動きによる「胸こうの体積の変化」に着目しながらまとめてみましょう。

＜学習のヒント＞

- ① 教科書 P22 の図 16 や図 17 を参考に、毛細血管と肺胞の物質（酸素・二酸化炭素）のやり取りに注目してみましょう。
- ② 教科書 P23 の図 18 や、その上部にある「ミッケのふきだしの言葉」を参考に考えてみましょう。
- ③ 教科書 P23 の「ためしてみよう」を参考にしながら考えてみましょう。
 - ゴム膜を引く
 - ⇒ ペットボトル内部の体積が大きくなる
 - ⇒ ペットボトルの広がったすき間の分、風船の中に空気が吸い込まれる
 - ⇒ 風船がふくらむ
 - ゴム膜を押す
 - ⇒ ペットボトル内部の体積が小さくなる
 - ⇒ ペットボトル内部が狭くなった分、風船の中の空気が押出される
 - ⇒ 風船がしぼむ

～下記ページを参考にするのもよいでしょう。～

『NHK for School 「ヒトの呼吸器のしくみ」』

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301118_00000

【英語】

＜内容1＞

◆教科書 P22 Program2 (3) の Basic Dialog を読んで、次のことに取り組みましょう。

（教科書 p120 の巻末資料 1 で会話の内容が確認できます。）

＜取り組み方＞

(1) 2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう。

★音声を聞きながら取り組む課題です。

①右のQRコードから Program 2 ③の Basic Dialog（教科書 P22）の音声を聞きましょう。※QRコードが読み取れない場合は下記URLを入力してください。

http://www.kairyudo.co.jp/contents/05_kyoiku/support/chu/eigo/jidoseito/202004.htm

②どんな場面で、どんな内容の話をしているのか、考えてみましょう。

③青色やオレンジ色のパートになりきって、セリフのどの部分が相手にしっかり伝わるとよいかを考え、工夫して読んでみましょう。

★音声がなくても取り組むことができる課題です。

①どんな場面で、どんな内容の話をしているのか、考えてみましょう。

②会話文を声に出して何度か練習し、青色・オレンジ色のパートになりきって、セリフのどの部分が相手にしっかり伝わるとよいかを考え、工夫して読んでみましょう。



＜内容2＞

教科書 P22 のメールは、由紀がマイクに、フィンランドでの自分の予定について知らせている場面です。(2) (3)に取り組みましょう。

＜取り組み方＞※(2)は、日本語でも英語でもよいです。

(2) 由紀の予定について分かったことをまとめて「取組シート」または「家にあるノートに書きましょう。(いつ、どこへ、何をするのか、など)

(3) 由紀がどのような気持ちでメールを書いているかを思い浮かべて、本文を声に出して読んでみましょう。

学習のヒント

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html

＜配信内容＞

新着動画→「一日の生活」「乗り物」「味」「衣類」「一日の時間・文房具」

「名前の書き方」「アルファベットの大文字・小文字」「月」「序数（日付）」

「食べ物」「スポーツ」「国」「色」「教科」「状態」「職業」「日常生活」など

学習補助動画を使ったおすすめの学習方法

*「聞く」だけでも学習になりますが、「話す」「書く」ことにもチャレンジしてみませんか？



(工夫①) 日本語を聞いて、ALTの先生より先に英単語を言うことを目標にして何度も練習。

(工夫②) 画面の絵の部分かくし、日本語のあとに英単語がすぐに言えることを目標に練習。



(工夫③) 画面を見ないで、日本語、英語を聞き、ノートなどに単語を書いてみる。

終わったら、画面を見て答え合わせをしましょう。



【美術】※美術は、月に1度の課題となります。

＜内容＞

- 暮らしの中にある様々なユニバーサルデザイン（年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、すべての人が快適に利用できる製品や施設、環境）を探そう。

＜取り組み方＞

- 1 美術2・3の教科書P65の「もっとやさしく」「もっとわかりやすく」に掲載されている作品（指に刺さりにくく抜きやすいピンや階段用手すりなど）を参考にして、生活の中にある様々なユニバーサルデザインの商品を見つけ、その中から1つ選び、ワークシートにまとめよう。（色鉛筆などで着色してみよう。画像をプリントアウトするなどして貼るのもよいです。）
- 2 その使い方や活用の仕方など、「工夫しているな」と思うところや「美しいな」と思うデザインの特徴などを自分なりに見つけ、まとめてみよう。

動画の解説もあります。↓



※さらに取り組みたい人はこちらのチャレンジ課題に挑戦してみてください。

＜チャレンジ課題＞

普段の生活や学校生活など、自分たちの生活をより豊かにするためのユニバーサルデザインの作品を考えてみよう。

※作品のデザインを考える前に、自分が、「生活の中でこんな商品や施設があったらいいな」と思う場面をいくつか挙げ、その中から思い浮かんだ作品のアイデアスケッチを描こう。

「学習のヒント」

- ・美術2・3の教科書P65に載っている作品だけでなく、インターネットや本などで調べて、ワークシートをまとめてみよう。

※チャレンジ課題の学習のヒント

- ・右の図の作品例も参考にして、アイデアを考えてみよう。

（作品例）

<p>商品デザイン</p> <p>落下する（われる） 中の液体が出る かわく 回収しやすい</p> <p>断面図 液体 ガラス</p>	<p>商品タイトル Safetea (t-7fi)</p> <p>使用方法・商品解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 落下した時に、ガラスとガラスの間にガラスが飛び散らないように、液体が入っている。 ◦ 破片も飛ばさない。少し時間がたつと、けがをせずに回収することができる。 ◦ 目が見えなかつたり、不自由な人でも持つ部分が分かるように、くぼみがある。 ◦ デザインを工夫して、あえて左右非対称にしました。 <p>デザインのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 普通の人でも、自然に使えるようなデザインにしました。 ◦ 色も、いちばん優しい雰囲気の白で統一しました。 ◦ タイトルの意味は、「安全にお茶を飲むことができる」という意味です。 <p>値段：600円</p>
---	---

美術科・ワークシート 学習課題（中学校2・3年生共通）

■暮らしの中にある様々な「ユニバーサルデザイン」を探してみよう。

- ・見つけた「ユニバーサルデザイン」の商品や施設をスケッチしたり、画像を貼ったりしてまとめてみよう。また、デザインのよさや工夫されている部分をまとめてみよう。

見つけた「ユニバーサルデザイン」のスケッチや画像	デザインのよさや工夫されているポイント

<チャレンジ課題>

- ① 普段の生活や学校生活の中で「こんなユニバーサルデザインがあったらいいな」と思ったことや場面を思い出してみよう。

--

- ② 普段の生活や学校生活をより豊かにするための「ユニバーサルデザイン」の商品のデザインを考えてみよう。

ユニバーサルデザインのアイデアスケッチ	商品名
	デザインのポイントや使い方の説明

年 組 番 氏名

動画の解説もあります



【 保健体育 】

＜内容＞「体づくり運動」でねらいの異なる4つの運動に取り組んだことを基にして運動の計画を作成し、実践してみよう。

＜取り組み方＞

動画 URL <https://youtu.be/GhXGFz43sl0>

動画とイラストを参考にどんな運動があったか思い出してみよう。

①【体の柔らかさ】〈5月18～22日〉

どの部位を解緊しているのかを意識しながら、可動範囲を徐々に広げるような、負荷の少ない動的な運動から始めよう。

体の各部位を前もって緊張したり、意識的に解緊したりして、可動範囲を広げよう。

リズミカルに曲げ伸ばし

ゆっくり10秒キープ

柔らかさ

②【巧みな動き】〈5月25日～29日〉

ゆっくりした動きから素早い動き、小さいから大きい、弱いから強い、易しい動きから難しい動きへと発展させよう。

動きに対応してタイミングよく動く、バランスをとる、リズミカルに動く、力を調節して素早く動く能力を高めよう。

様々な動作

様々な用具

様々な空間

巧み

③【力強い動き】〈6月1日～5日〉

繰り返すことのできる最大の回数などを手がかりに、無理のない運動の強度と反復回数を選んで行おう。

自己の体重や抵抗を負荷として、それらを動かしたり移動させたりして、力強い動きを高めよう。

重い物で

二人組で

自体重で

力強い

④【動きを持続する能力】〈6月8日～12日〉

心拍数や疲労感などを手がかりにして、無理のない運動の強度と時間を選んで行うようにしよう。

1つ又は複数の運動を一定の時間連続して行ったり、回数を反復したりして、動きを持続する能力を高めよう。

1つの種目で

複数の種目で

持続

⑤自分なりに効率よく行う運動やバランスよく高める運動の組み合わせ方を見付けよう。

■①～④の中から2つを選び、具体的な運動を書こう ■運動後に実感した効果を考えてみよう

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div>
---	---

＜学習のヒント＞

- 日常生活の中にも体を動かす機会を考えてみましょう。
- 室内で行う場合も安全に留意して行いましょう。